

第51回青森県少年空手道大会要項

1. 大会名 第51回青森県少年空手道大会
2. 主催 青森県空手道連盟、弘前市、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会
3. 主管 青森県空手道連盟大会実行委員会
4. 日時 令和7年6月7日(土) 県少年大会個人戦(小学)の部
 開 場 8時00分 実行委員、補助員集合
 審判会議 8時20分～40分迄
 開会式 8時45分
 競技開始 9時00分
 表彰式 随時行います。
 令和7年6月8日(日) 県少年大会団体戦(中学)の部
 開 場 8時00分 実行委員、補助員集合
 審判会議 8時20分～40分迄
 開会式 8時45分
 競技開始 9時00分
 表彰式 随時行います。
5. 場 所 〒036-8101 青森県弘前市大字豊田2丁目3
 青森県武道館 TEL 0172-26-2200

6. 種 目 (1) 個人戦(各団体からの参加制限人数は、ありません。)

幼年(4歳から6歳児)男女混合 形

小学1年男子	形、組手	小学1年女子	形、組手
小学2年男子	形、組手	小学2年女子	形、組手
小学3年男子	形、組手	小学3年女子	形、組手
小学4年男子	形、組手	小学4年女子	形、組手
小学5年男子	形、組手	小学5年女子	形、組手
小学6年男子	形、組手	小学6年女子	形、組手
中学1年男子	形、組手	中学1年女子	形、組手
中学2年男子	形、組手	中学2年女子	形、組手
中学3年男子	形、組手	中学3年女子	形、組手

※ 小学の部は3位決定戦を行わない。※ 中学の部は3位決定戦を行う。

- (2) 団体戦(各団体からの団体参加制限数は、ありません。)

小学1部	形 (1～2年)(3人1チーム、)	男女混合可
小学2部	形 (3～4年)(3人1チーム、)	男女混合可
小学3部	形 (5～6年)(3人1チーム、)	男女混合可
小学1部	組手 (1～2年)(3人1チーム、)	男女混合可
小学2部男子	組手 (3～4年)(3人1チーム、)	
小学2部女子	組手 (3～4年)(3人1チーム、)	
小学3部男子	組手 (5～6年)(3人1チーム、)	
小学3部女子	組手 (5～6年)(3人1チーム、)	

中学 団体	形 (1～3年)(3人1チーム、)	男女混合可
中学 男子団体	組手 (1～3年)(3人1チーム)	
中学 女子団体	組手 (1～3年)(3人1チーム)	

※ 組手競技は、オーダー表の提出が必要です。競技開始までに、コート主任へ提出してください。
 なお、オーダー表は、申込書の末シートにあります。各団体は、オーダー表を事前作成し、切り取ったものを持参して試合時に活用してください。

※ 団体戦においては小・中学の部両方とも3位決定戦を行わない。

7. 参加資格

- (1) 小・中学生は、青空連の加盟団体に所属しており、全空連への登録及び青空連会員負担金を納入している男女とする。ただし、申請中の者も参加可能とするので、参加申し込みをした選手(当日の棄権を含む)は、後日、確実に申請を行うこと。個人戦・団体戦ともに人数・団体制限はありません。
幼年に限り全空連登録は未登録でも参加可能とする。
- (2) **参加選手は、背中に団体名と選手名を記したゼッケンのみを縫い付けること。**ボタンでの装着は認めない。

8. 参加料
- | | | | |
|---------|------|-----|------------|
| (1) 個人戦 | 一人 | 一種目 | 2, 0 0 0 円 |
| (2) 団体戦 | 一チーム | | 6, 0 0 0 円 |

9. 競技方法

(1) 形競技

- ・ トーナメントフラッグ方式で行う。
- ・ 団体戦は、登録した選手より任意の3名を選出する。決勝まで、赤、青、交互に演武を行う。
- ・ 個人戦は、準々決勝まで、赤・青同時に演武し、準決勝以降、赤、青、交互に演武を行う。

ア 実施要領

- ・ 個人形の演武は「斜めに入る」「礼」「(赤青の順に) 形名を言う」「演武する」。
終わったら「礼」「後ろへ下がる」「判定を受ける」こととする。(時間短縮のため、礼は2回とする。)
- ・ 幼年、小学生
 - a 準々決勝まで全空連基本形1～4の中から行う。同じ形を繰り返しても良い。
 - b 準決勝以上は、(公財)全空連第Ⅰ・Ⅱ指定形を加えた上でそれまでに演武していない形を演武する。※ 幼年・1・2年生の部においては決勝戦まで同じ形を演武して良いものとする。
- ・ 中学生
 - a 第1ラウンドは第Ⅰ・第2指定形から行う。
 - b 第2ラウンド・メダルマッチは得意形から行う。

すべてのラウンドを点数方式で行う。

(2) 組手競技

- ア 個人戦・団体戦ともトーナメント方式で行う。
- イ 団体戦は初戦以降の試合も、それぞれのチームどちらかの勝敗が決まっても全ての試合を行う。**両チームが2名の場合のオーダーは先詰めとする。**各団体は、競技開始直前までに登録した選手から選出したオーダー表を競技するコート主任へ提出する
- ウ 競技時間は、すべての試合において1分30秒(フルタイム)とする。勝敗は6ポイント差が生じた場合、または(公財)全空連空手競技 組手競技第7条により決められる。
- エ 安全具：組手全種目に全空連検定品である安全具を各自で準備する。
小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル、赤・青拳サポーター全空連検定品)、メンホーNo. 6以上、ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガードを着装すること。中学生のインステップガード、シンガードについては、赤青の使用可とする。
小学3年生以上の男子は、セーフティカップを着装する。その他は団体の責任者の判断に委ねるが事故発生の際、大会実行委員会の責任とはならない。
ボディプロテクターは、空手着の中に競技規定通り着用すること。また、安全具の共有は認めない。
- オ 当日、医師が確保できた場合は、10カウントルールを適用する。

10. 表彰

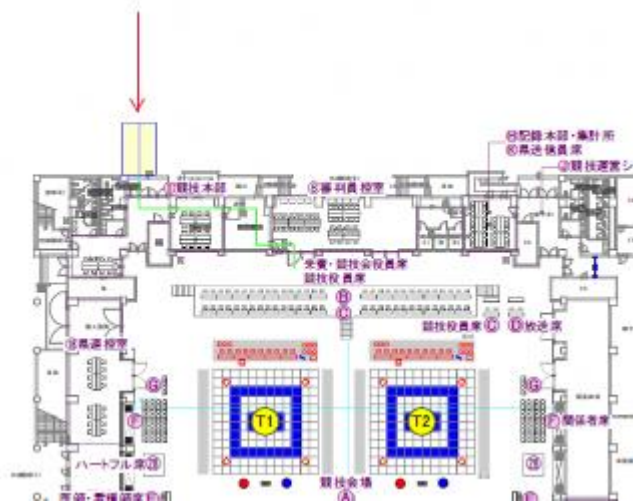
- (1) 個人競技 1位から3位まで賞状及びメダルとする。
- (2) 団体競技 1位から3位まで賞状及びメダルとする。(賞状4枚、メダル4個)
- (3) 総合の部 賞状及びトロフィー

昨年の大会時の結果により持ち回りのカップ(優勝をお持ちの団体は、忘れずにお持ちください)

11. 審判員

全空連公認審判員及び青空連が認めた審判員を基準として審判団を編成する。多くの審判を確保したいため、保護者を含めた経験者は、審判としての参加をお願いします。

※審判員の監督兼務を可能とする。



1 6．大会期間中、想定外の事態が発生した場合は、運営に関することは大会実行委員会が、競技に関することは審判長が決定権を持つものとする。

1 7．追記事項

① 団体戦において、大会要項に定められた出場人数が、各参加団体内において少ないあるいは多いことによる選手救済の特例として、参加（出場）団体同士での複合チームを認める

・（例；選手 4 名の場合、3 名で 1 チーム、残り 1 名は他団体と組み出場⇒ ○）

・（例；2 人＋2 人の複合チーム⇒ ×）

・（例：1 人＋2 人の複合チーム⇒ ○）

・（例：1 人＋1 人＋1 人（3 団体混合）⇒ ○）

・（例：1 人＋1 人 2 団体で 2 名 ⇒ ○）

② 複合チームが 5 位以内に入賞し得点を得た場合は、その参加（出場）団体への得点は加算しないものとする。

③ 複合チーム名は、参加（出場）団体の名称をすべて『複合チーム』の名称で参加する。